



中央公民館だより 2月号

発 行：鹿児島市中央公民館 発行日：令和8年2月1日

〒892-0816 鹿児島市山下町5-9

TEL：224-4528 FAX：224-4529

鹿児島市ホームページ (<http://www.city.kagoshima.lg.jp>)

地域公民館の公民館だより



まどいに和み 学びを生かす 伝統と文化の中央公民館
～「安心」・「安全」・「笑顔」でキラリ輝く98年の歴史と伝統～

ウェルビーイングな社会（公民館）をめざして

社会教育指導員 上原一宏

ここ数年間に、ウェルビーイングという言葉を耳にする回数が増えてきました。ウェルビーイングとは、身体的・精神的・社会的によい状態にあることをいい、短期的な幸福のみならず、持続的な幸福をも含む概念です。対して、「24時間働けますか」のようなワークライフバランスを無視した言葉は、もう使われることはないでしょう。

昭和の時代は、経済的な豊かさばかりを求めていました。したがって、働いて働いて働いて、そしてワークライフバランスを無視した生き方がよしとされていました。しかし、平成7年をピークに生産年齢人口（15歳以上65歳未満の人口）がどんどん減ってきて、当時2位だったGDPの世界ランキングも中国やドイツに抜かれ、令和7年にはインドにも抜かれ、5位にまで順位を落とす見通しです。しかも、一人当たりのGDPで見ると、OECD加盟国の中で24位と順位を下げている状況です。

そんな中で、経済的な豊かさだけでなく、精神的な豊かさや健康までを含めて、幸福や生きがいを捉える考え方が重視され始めています。これが、ウェルビーイングの考え方です。しかも、一人だけが幸せになるのではなく、一人一人のウェルビーイングが家庭や地域、社会に広がっていき、その広がりが多様な個人を支え、将来にわたって世代を超えて循環していくという姿の実現が求められます。さらに、これらのこととは、持続可能なもの（次の世代へと引き継がれていくもの）でなければなりません。

このウェルビーイングを中心になって提供し続けるのが地域公民館の役割ではないかと私は考えています。講座に参加し、研さんを深めるのも一つですし、その中で和気あいあいとした雰囲気で過ごすことも一つです。また、総合文化祭などで展示発表や舞台発表をするのも見るのもウェルビーイングだと思います。つまり、一人一人が公民館で研さんすることで、それぞれも幸せになりますし、講師や公民館、そして家族にとっても幸せが広がっていく、ひいては地域、社会を巻き込んで幸せの輪が広がっていくのです。

令和8年も始まって一か月余りが経過しています。皆様がどんどん中央公民館に関わっていただき、持続可能なウェルビーイングの輪をどんどん拡散させていきましょう。

はばたけ、薩摩っ子⑨

大龍小学校

朝陽第二小学校との交流

大龍小学校の総合的な学習には、「西郷单元」（総合的な学習の時間）というものがあります。これは西郷さんの偉業や逸話、言葉、教え（敬天愛人など）を学年ごとに教材化したものです。

また、西郷さんとのご縁で、山形県鶴岡市立朝陽第二小学校と交流しています。この写真は、朝陽第二小学校とお互いに交流したことをもとに「徳の交わり」としてリモートで交流を図っている様子です。

来年度は大龍小学校が鶴岡市へ訪問します。



中央地域総合文化祭に向けて

1月6日（火）から20日（火）にかけて、第49回中央地域総合文化祭の舞台リハーサルを行いました。出演する各団体の皆さん、演技はもとより立ち位置やお辞儀のタイミング、登壇から降壇までの確認など、本番さながらに熱のこもった稽古をされていました。



また、地階で開催する展示部門の会場準備を23日（金）に行いました。出展団体の方々で作品の展示や設営を協力して行い、本番に向け展示会場を整えることができました。



なお、1月24日（土）～25日（日）に開催された第49回中央地域総合文化祭の様子は、「中央公民館だより3月号」で詳しくお伝えする予定です。

第46回公民館新春かるたとり大会



1月12日（月）に西原商会アリーナにおいて、第46回公民館新春かるたとり大会が開催されました。市内の14地域公民館で百人一首の講座を受講したり、学習グループで活動したりしている小中学生らが参加し、他の地域の子どもたちと交流しながら学びの成果を競い合いました。

中央公民館からは、10月から12月にかけて開講した「かるたの達人～今百人一首が面白い～」講座を受講した小学1年生2人、4年生7人、6年生3人の12人が参加しました。受講生がより百人一首に慣れてくれたため、講座の回数を5回から7回に増やし、当日に備えました。

大会は、学年や経験等によってS、A、B、C、D級に分かれて行われました。その結果、中央公民館は、B級で見事3位に入賞しました。

講座の受講生が、この3年で1人→6人→12人と増えています。しかもこのうちの何人かは、「来年もぜひ受講したい」という感想を書いていました。来年の大会にも期待がもてそうです。



第48回鹿児島市地域公民館音楽祭

1月18日（日）にサンエールかごしまにおいて、第48回鹿児島市地域公民館音楽祭が開催されました。今年も鹿児島市内の14地域公民館から音楽の学習をしている団体が参加しました。

中央公民館の代表は「ハーモニカりんどう」でした。「瀬戸の花嫁」

「蘇州夜曲」「冬のうたメドレー」の3曲を演奏してくださいました。緊張感の中にもリラックスした表情で、すばらしい演奏を会場いっぱいに響かせていました。演奏が終わってからの温かい大きな拍手が印象的でした。「ハーモニカりんどう」のみなさん、感動をありがとうございました。

